

## Co-Cr 合金の可能性

Co-Cr 合金とは、コバルト Cobalt とクロム Chrome の合金を指す略語で、金属疲労、亀裂および荷重に対して優れた耐久性を備えた金属合金で、整形外科用インプラントに広く使用されている。

医療技術の進化により人工関節インプラント、骨固定器具など、Co-Cr 合金の生体親和性、耐強度、粘り強さが見直されております、耐強度においては大阪大学のデータにおいては、従来の 6 倍強度を 4 年後に人工関節実用に向けて開発中との発表もされております。

歯科界においても、歴史ある合金である事は、周知の事と存じます。

欧米では、金属床はもとより、30 年前よりメタルボンディングセラミック、フルキャストクラウン、金属床の同一口腔内、同一金属の使用によるガルバリック電位差を発生させない構造設計等に使用され今日に至っております。

金属アレルギー反応の少ないガルバノ・ゴールド・ハードコーティングの可能な合金でもあります。

平成 32 年度より Ni-Cr 合金の使用も保険診療から除外された事により、Co-Cr 合金の需要と進化が必要不可欠と思われれます。

症例を通して、Co-Cr 合金の有意義性及び、可能性をお伝えしたいと思います。

## 栃木県歯科技工士会における、義歯の名入れ事業について

栃木県歯科技工士会では、平成9年から今日まで老人福祉施設の入所者を対象に義歯の名入れボランティアを実施してまいりました。

新しい活動として、平成29年より、栃木県の県番号の「09」を入れること致しました。

また、在宅の認知症高齢者の義歯にも名前を入れるボランティアをスタートさせました。

平成29年度までの実施延べ人数2,047人、延床数3,760床を行ってまいりました。

施設では食事の後、義歯を洗うとき何人もの義歯を扱うことが多くなります、清掃、返却時に取り違えや、個人で紛失が多々あるために、名前を入れることで義歯の所有者がわかります。

在宅認知症高齢者の義歯に名前を入れることにより、義歯の名前により、本人確認の一助になると思われれます。

この活動は栃木県歯科技工士会の会員のボランティアによって実施しております